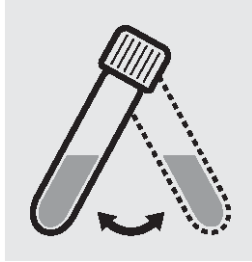


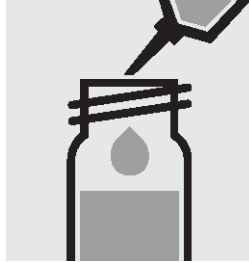
C3/25 ・ COD(ニクロム酸法)

化学的酸素要求量の測定

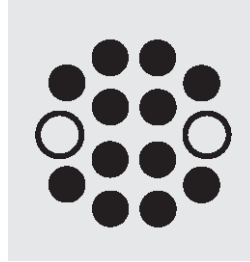
測定範囲: 10~150mg/l COD または O₂



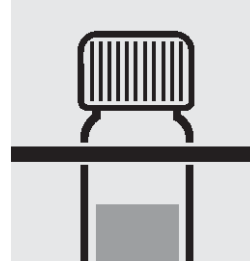
1. セルを振り混ぜて、底の沈殿物を懸濁させます。



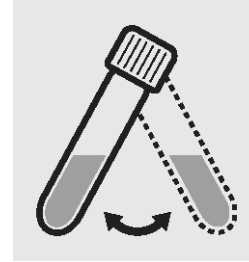
2. ピペットで 3.0ml の試料を反応セルに取り、ねじぶたでしっかり閉じてよく攪拌します。
注:セルが熱くなるので注意してください。



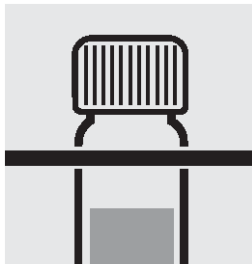
3. 反応セルを 148°C のリアクターで 2 時間加熱します。



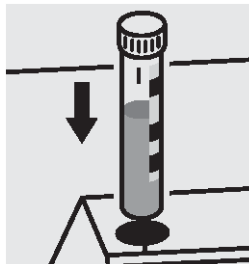
4. リアクターからセルを取り出し、試験管立てに置いて放冷します。



5. 10 分後にセルを振り混ぜます。



6. 完全に室温まで放冷するために、セルをラックに戻します。
非常に重要!



7. 各セルをセルコンパートメントにセットし、測定します。セルのマークを光度計のマークに合わせます。

品質保証:

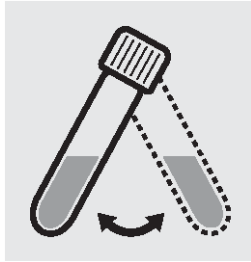
測定システム(試薬、測定装置、および取り扱い)の点検のため、CombiCheck 10(CAT 番号 250482)の使用を推奨します。

試料による影響を確認するため、添加液(例:CombiCheck 10 中)の使用を強く推奨します。

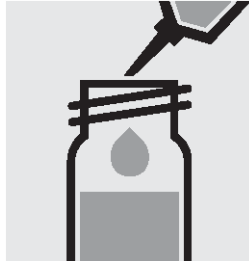
14560 ・ COD(ニクロム酸法)

化学的酸素要求量の測定

測定範囲: 4.0~40.0mg/ICOD または O₂

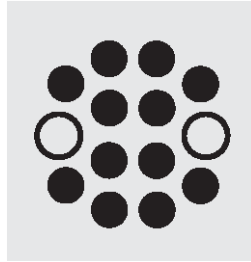


1. セルを振り混ぜて、底の沈殿物を懸濁させます。

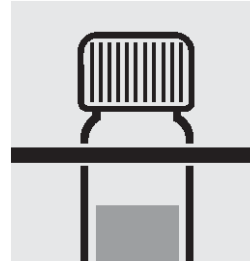


2. ピペットで 3.0ml の試料を反応セルに取り、ねじぶたでしっかり閉じてよく攪拌します。

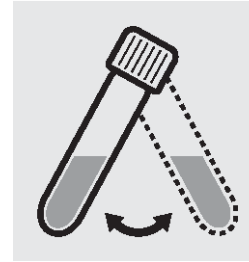
注: セルが熱くなるので注意してください。



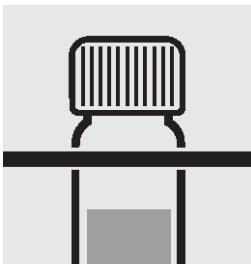
3. 反応セルを 148°C のリアクターで 2 時間加熱します。



4. リアクターからセルを取り出し、試験管立てに置いて放冷します。

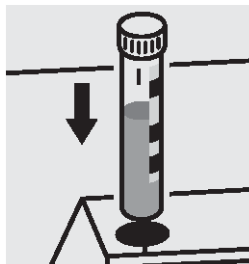


5. 10 分後にセルを振り混ぜます。



6. 完全に室温まで放冷するために、セルをラックに戻します。

非常に重要!



7. 各セルをセルコンパートメントにセットし、測定します。セルのマークを光度計のマークに合わせます。

品質保証:

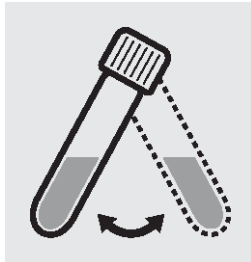
測定システム(試薬、測定装置、および取り扱い)の点検のため、CAT 番号 250486 の CombiCheck 50 の使用を推奨します。

試料による影響を確認するため、添加液(例: CombiCheck 50 中)の使用を強く推奨します。

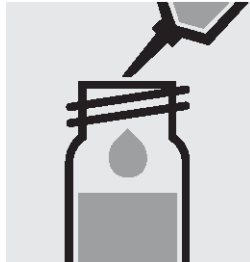
01796 ・ COD(ニクロム酸法)

化学的酸素要求量の測定

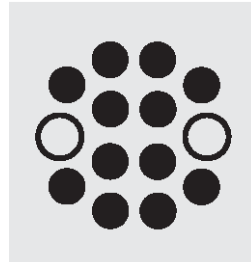
測定範囲: 5.0~80.0mg/l COD または O₂



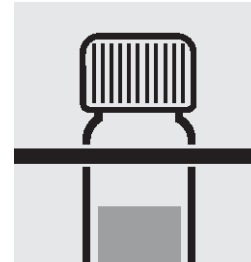
1. セルを振り混ぜて、底の沈殿物を懸濁させます。



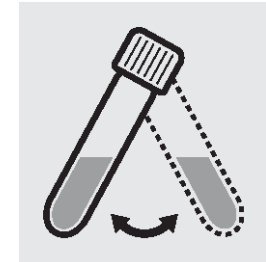
2. ピペットで 2.0ml の試料を反応セルに取り、ねじぶたでしっかり閉じてよく攪拌します。
注:セルが熱くなるので注意してください。



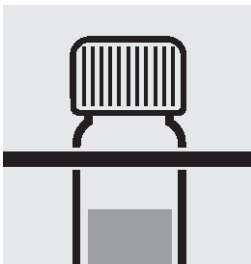
3. 反応セルを 148°C のリアクターで 2 時間加熱します。



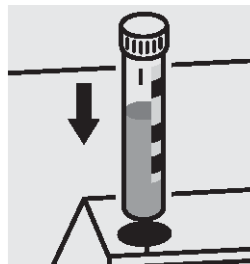
4. リアクターからセルを取り出し、試験管立てに置いて放冷します。



5. 10 分後にセルを振り混ぜます。



6. 完全に室温まで放冷するために、セルをラックに戻します。
非常に重要!



7. 各セルをセルコンパートメントにセットし、測定します。セルのマークを光度計のマークに合わせます。

品質保証:

測定システム(試薬、測定装置、および取り扱い)の点検のため、CAT 番号 250486 の CombiCheck 50 の使用を推奨します。

試料による影響を確認するため、添加液(例: CombiCheck 50 中)の使用を強く推奨します。

14540 ・ COD(ニクロム酸法)

化学的酸素要求量の測定

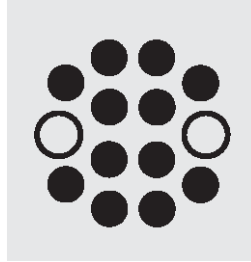
測定範囲: 10~150mg/l COD または O₂



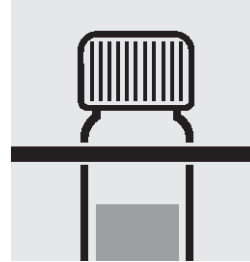
1. セルを振り混ぜて、底の沈殿物を懸濁させます。



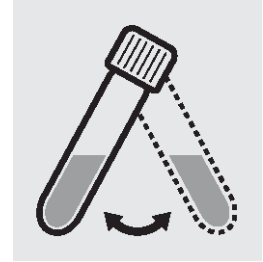
2. ピペットで 3.0ml の試料を反応セルに取り、ねじぶたでしっかり閉じてよく攪拌します。
注: セルが熱くなるので注意してください。



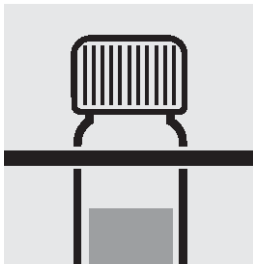
3. 反応セルを 148°C のリアクターで 2 時間加熱します。



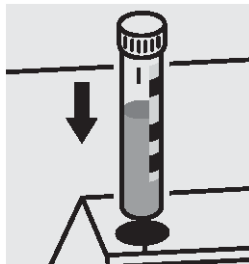
4. リアクターからセルを取り出し、試験管立てに置いて放冷します。



5. 10 分後にセルを振り混ぜます。



6. 完全に室温まで放冷するために、セルをラックに戻します。
非常に重要!



7. 各セルをセルコンパートメントにセットし、測定します。セルのマークを光度計のマークに合わせます。

品質保証:

測定システム(試薬、測定装置、および取り扱い)の点検のため、CombiCheck 10(CAT 番号 250482)の使用を推奨します。

試料による影響を確認するため、添加液(例:CombiCheck 10 中)の使用を強く推奨します。

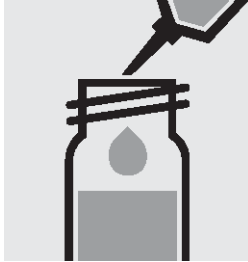
14895 ・ COD(ニクロム酸法)

化学的酸素要求量の測定

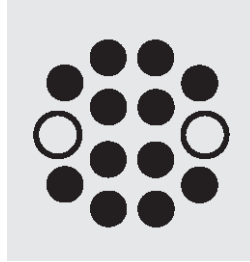
測定範囲: 15~300 mg/l COD または O₂



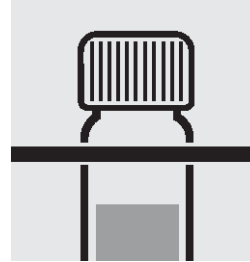
1. セルを振り混ぜて、底の沈殿物を懸濁させます。



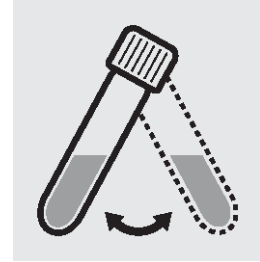
2. ピペットで 2.0ml の試料を反応セルに取り、ねじぶたでしっかり閉じてよく攪拌します。
注:セルが熱くなるので注意してください。



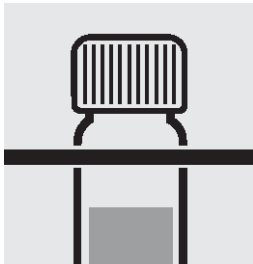
3. 反応セルを 148°C のリアクターで 2 時間加熱します。



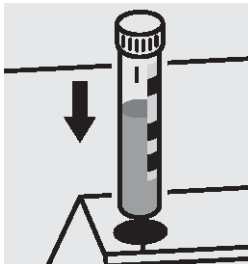
4. リアクターからセルを取り出し、試験管立てに置いて放冷します。



5. 10 分後にセルを振り混ぜます。



6. 完全に室温まで放冷するために、セルをラックに戻します。
非常に重要!



7. 各セルをセルコンパートメントにセットし、測定します。セルのマークを光度計のマークに合わせます。

品質保証:

測定システム(試薬、測定装置、および取り扱い)の点検のため、CAT 番号 250487 の CombiCheck 60 の使用を推奨します。

試料による影響を確認するため、添加液(例:CombiCheck 60 中)の使用を強く推奨します。

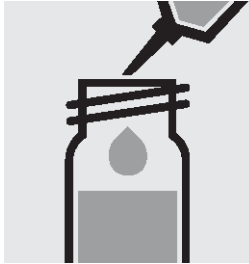
14690 ・ COD(ニクロム酸法)

化学的酸素要求量の測定

測定範囲: 50~500 mg/l COD または O₂

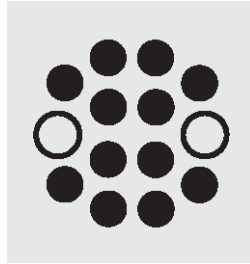


1. セルを振り混ぜて、底の沈殿物を懸濁させます。

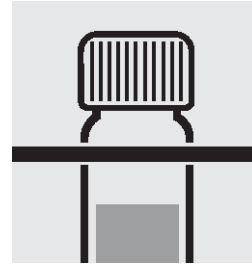


2. ピペットで 2.0ml の試料を反応セルに取り、ねじぶたでしっかり閉じてよく攪拌します。

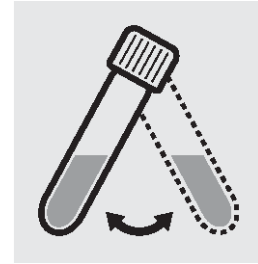
注: セルが熱くなるので注意してください。



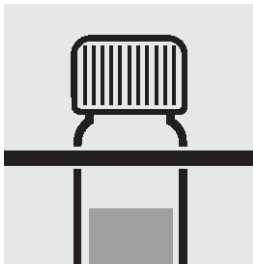
3. 反応セルを 148°C のリアクターで 2 時間加熱します。



4. リアクターからセルを取り出し、試験管立てに置いて放冷します。

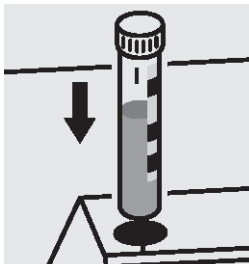


5. 10 分後にセルを振り混ぜます。



6. 完全に室温まで放冷するために、セルをラックに戻します。

非常に重要!



7. 各セルをセルコンパートメントにセットし、測定します。セルのマークを光度計のマークに合わせます。

品質保証:

測定システム(試薬、測定装置、および取り扱い)の点検のため、CAT 番号 250487 の CombiCheck 60 の使用を推奨します。

試料による影響を確認するため、添加液(例: CombiCheck 60 中)の使用を強く推奨します。

1. 定義

COD(化学的酸素要求量)とは、酸化剤であるニクロム酸カリウム($K_2Cr_2O_7$)により、ある一定の条件下で酸化される物質(酸化性物質)と反応する酸素量を表します。

1 mol のニクロム酸カリウムは、1.5 mol の酸素(O)に相当します。
測定結果は mg/L COD (= mg/L O) に該当します。

2. 測定原理

水中の酸化性物質は、硫酸銀を触媒とした硫酸酸性下で加熱分解によりニクロム酸カリウム溶液により酸化されます。塩化物イオンは硫酸水銀によりマスキングされます。消費されずに残った黄色の $Cr_2O_7^{2-}$ イオンを光学的に測定します。
本法は、EPA 410.4 および US Standard Methods 5200 D、ISO 15705 に準拠しています。

3. アプリケーション

本法はニクロム酸カリウムにより酸化される有機および無機化合物を測定します。

適用外の化合物: ある種の複素環式化合物(例 ピリジン)
および 第四級窒素化合物、高揮発性炭化水素

サンプル:
地下水、地表水、工程管理、排水

4. 妨害物質の影響

妨害物質が、表中の濃度以下であれば測定に影響はしません。

妨害物質濃度(mg/L または %)

	14560	14540	14895	14690
Cl ⁻	2000	2000	2000	2500
Cr ³⁺	75	75	75	100
CrO ₄ ²⁻	5	5	5	10
NO ₂ ⁻	10	10	10	25
SO ₃ ²⁻	25	25	25	50
H ₂ O ₂	10	10	10	10
NaNO ₃	10%	10%	10%	20%
Na ₂ SO ₄	10%	10%	10%	20%
Na ₃ PO ₄	10%	10%	10%	20%

5. 試薬の保存条件

試薬キットの内容物は、必ず遮光して保存してください。
キットに含まれる試薬類は密閉状態で、以下の条件で保存された場合、
容器に記載された有効期限まで安定してご使用頂けます。
保管温度: +15~+25 °C

6. 使用する試薬・器具

14560 用試薬セット(測定回数 28 回) 品番 M1145600001
14540 用試薬セット(測定回数 28 回) 品番 M1145400001
14895 用試薬セット(測定回数 28 回) 品番 M1148950001
14690 用試薬セット(測定回数 28 回) 品番 M1146900001
反応用丸セル(25 本)

(オプション)

リアクター CR2200 型 品番 W1P21-2
リアクター CR3200 型 品番 W1P22-2
リアクター CR4200 型 品番 W1P23-2

7. 精度管理

測定結果は測定器、操作法の精度管理がなされていることを前提にして、正式に認められるものです(DWAA 704)。
この目的のために、CombiCheck がご使用になれます。この製品には光度測定系(測定器、試薬、操作法)および作業条件の確認用の標準液と、サンプル由来の影響(サンプル中のマトリックスの影響)を調べる添加溶液が含まれています。濃度既知の添加溶液を添加して測定を行うことで確認出来ます(回収率による判定)。

対応する CombiCheck は、下記の一覧をご参照ください。

種別	CombiCheck(品番)	標準液 mg/L COD
14560	CombiCheck 50 (M1146950001)	20.0
14540	CombiCheck 10 (M1146760001)	80
14895 14690	CombiCheck 60 (M1146960001)	250

データ

製品の品質管理は、ISO 8644-1 および DIN 38402 A51 に準拠して、下記のようにコントロールされています。

製品番号	114560	114540	114895	114690
標準偏差 (mg/L COD)	± 0.31	± 1.2	± 1.5	± 2.0
CV (変動係数) (%)	± 1.5	± 1.5	± 0.98	± 0.71
信頼区間 (mg/L COD)	± 0.7	± 3	± 4	± 4
ロット数	33	39	26	27
感度 (0.010 A に相当する mg/L COD)	0.4	2	2	4
測定精度 (最大 mg/L COD)	± 1.8	± 6	± 7	± 11

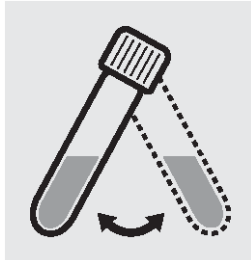
8. ご注意

- 未使用の試薬あるいは測定後の溶液の廃棄につきましては、各都道府県・地域の条例に従って行ってください。
- 幼児の手の届かないところおよび食品から離れたところに保管してください。
- 肌や目に試薬が触れた場合には、直ちに流水で試薬を良く洗い流した後、医療機関に指示を仰いでください。

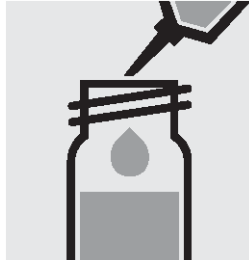
C4/25 ・ COD(ニクロム酸法)

化学的酸素要求量の測定

測定範囲: 25~1500mg/l COD または O₂

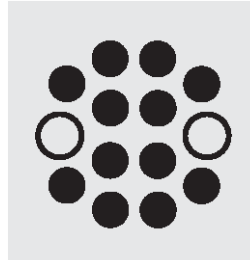


1. セルを振り混ぜて、底の沈殿物を懸濁させます。

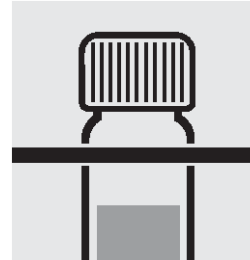


2. ピペットで 3.0ml の試料を反応セルに取り、ねじぶたでしっかり閉じてよく攪拌します。

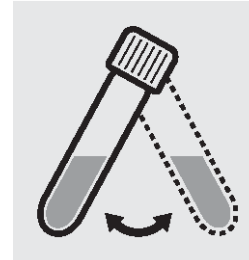
注: セルが熱くなるので注意してください。



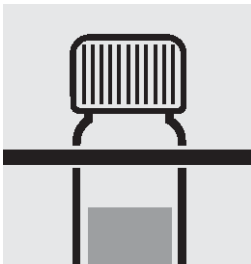
3. 反応セルを 148°C のリアクターで 2 時間加熱します。



4. リアクターからセルを取り出し、試験管立てに置いて放冷します。

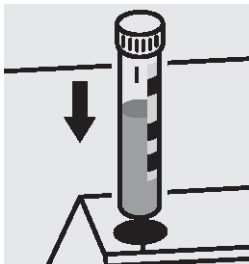


5. 10 分後にセルを振り混ぜます。



6. 完全に室温まで放冷するために、セルをラックに戻します。

非常に重要!



7. 各セルをセルコンパートメントにセットし、測定します。セルのマークを光度計のマークに合わせます。

品質保証:

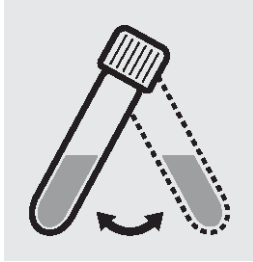
測定システム(試薬、測定装置、および取り扱い)の点検のため、CAT 番号 250483 の CombiCheck 20 の使用を推奨します。

試料による影響を確認するため、添加液(例: CombiCheck 20 中)の使用を強く推奨します。

14541 ・ COD(ニクロム酸法)

化学的酸素要求量の測定

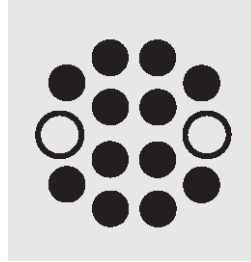
測定範囲: 25~1500mg/l COD または O₂



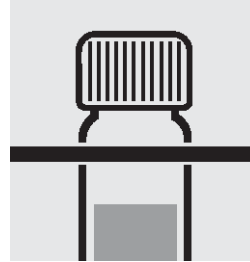
1. セルを振り混ぜて、底の沈殿物を懸濁させます。



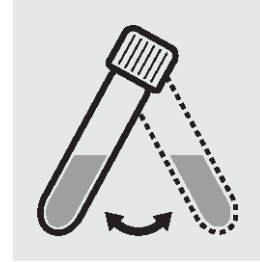
2. ピペットで 3.0ml の試料を反応セルに取り、ねじぶたでしっかり閉じてよく攪拌します。
注:セルが熱くなるので注意してください。



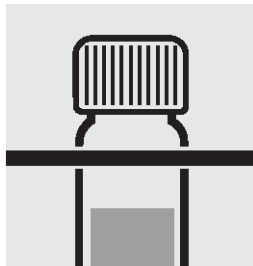
3. 反応セルを 148°C のリアクターで 2 時間加熱します。



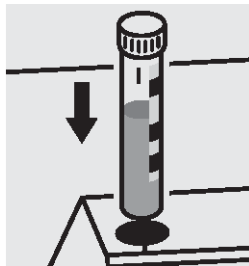
4. リアクターからセルを取り出し、試験管立てに置いて放冷します。



5. 10 分後にセルを振り混ぜます。



6. 完全に室温まで放冷するために、セルをラックに戻します。
非常に重要!



7. 各セルをセルコンパートメントにセットし、測定します。セルのマークを光度計のマークに合わせます。

品質保証:

測定システム(試薬、測定装置、および取り扱い)の点検のため、CAT 番号 250483 の CombiCheck 20 の使用を推奨します。

試料による影響を確認するため、添加液(例:CombiCheck 20 中)の使用を強く推奨します。

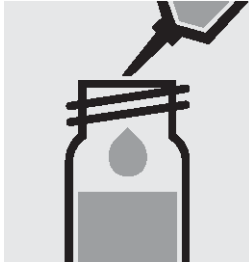
14691 ・ COD(ニクロム酸法)

化学的酸素要求量の測定

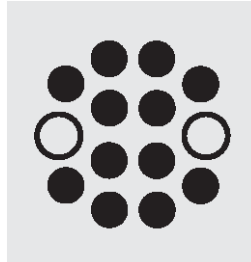
測定範囲: 300~3500 mg/l COD または O₂



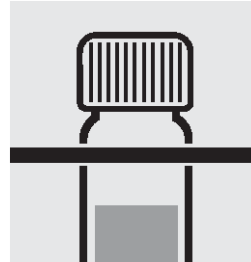
1. セルを振り混ぜて、底の沈殿物を懸濁させます。



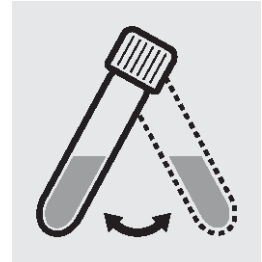
2. ピペットで 2.0 ml の試料を反応セルに取り、ねじぶたでしっかり閉じてよく攪拌します。
注:セルが熱くなるので注意してください。



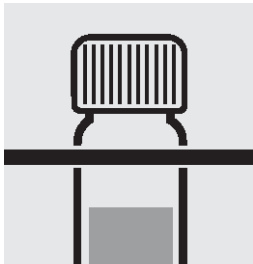
3. 反応セルを 148°C のリアクターで 2 時間加熱します。



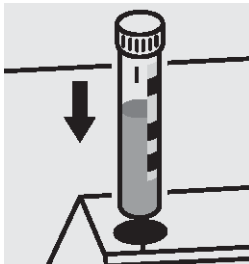
4. リアクターからセルを取り出し、試験管立てに置いて放冷します。



5. 10 分後にセルを振り混ぜます。



6. 完全に室温まで放冷するために、セルをラックに戻します。
非常に重要!



7. 各セルをセルコンパートメントにセットし、測定します。セルのマークを光度計のマークに合わせます。

品質保証:

測定システム(試薬、測定装置、および取り扱い)の点検のため、CAT 番号 250489 の CombiCheck 80 の使用を推奨します。

試料による影響を確認するため、添加液(例: CombiCheck 80 中)の使用を強く推奨します。

14555 ・ COD(ニクロム酸法)

化学的酸素要求量の測定

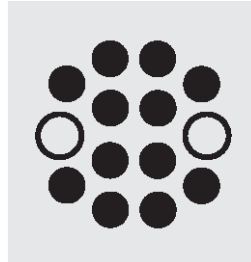
測定範囲: 500~10000mg/l COD または O₂



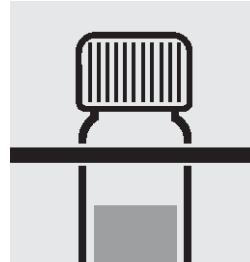
1. セルを振り混ぜて、底の沈殿物を懸濁させます。



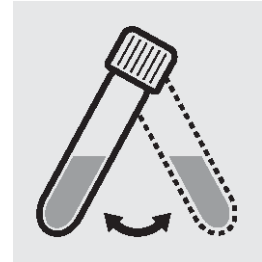
2. ピペットで 1.0ml の試料を反応セルに取り、ねじぶたでしっかり閉じてよく攪拌します。
注:セルが熱くなるので注意してください。



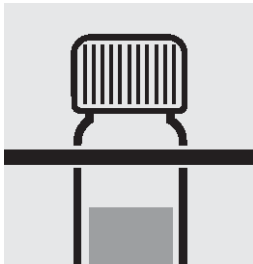
3. 反応セルを 148°C のリアクターで 2 時間加熱します。



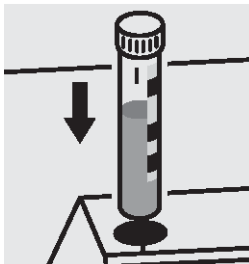
4. リアクターからセルを取り出し、試験管立てに置いて放冷します。



5. 10 分後にセルを振り混ぜます。



6. 完全に室温まで放冷するために、セルをラックに戻します。
非常に重要!



7. 各セルをセルコンパートメントにセットし、測定します。セルのマークを光度計のマークに合わせます。

品質保証:

測定システム(試薬、測定装置、および取り扱い)の点検のため、CAT 番号 250488 の CombiCheck 70 の使用を推奨します。

試料による影響を確認するため、添加液(例: CombiCheck 70 中)の使用を強く推奨します。

1. 定義

COD(化学的酸素要求量)は、水 1 L 中に存在する酸化性物質と反応する重クロム酸カリウムの量に対応する酸素量を示し、以下の条件で換算できます。

1 mol $K_2Cr_2O_7$ = 1.5 mol O_2
COD量は mg/L (= mg/L O_2)で表されます。

2. 測定原理

サンプル中の酸化性物質は、触媒である硫酸銀存在下で加熱した硫酸酸性の重クロム酸カリウム溶液により酸化されます。塩化物イオンは、硫酸水銀でマスキングされます。生成された緑色のクロムイオン(Cr^{3+})を光学的に測定します。
本法は、EPA 410.4 および US Standard Methods 5220 D、ISO15705 に準拠しています。

3. アプリケーション

本法は、重クロム酸によって酸化される有機および無機化合物を測定します。

例外：ヘテロ環化合物の一部(ピリジンなど)、4級窒素化合物、揮発性炭化水素

サンプル：プロセス管理、排水

4. 妨害物質の影響

妨害物質が、表中の濃度以下であれば測定に影響はしません。

妨害物質濃度(mg/L または %)

製品番号	Cl ⁻	Cr ³⁺	CrO ₄ ²⁻	NO ₂ ⁻	SO ₃ ²⁻	H ₂ O ₂	NaNO ₃	Na ₂ SO ₄	Na ₃ PO ₄
14541	2000	25	50	50	25	50	10%	10%	10%
14691	2500	50	100	50	25	50	20%	20%	20%
14555	5000	25	50	50	25	10	10%	10%	10%

5. 試薬の保存条件

パッケージに記載された注意書きをよくお読み下さい。
キットに含まれる試薬類は密閉状態で、以下の条件で保存された場合、容器に記載された有効期限まで安定してご使用頂けます。
保管温度：+15~+25 °C

6. 使用する試薬・器具

14541 用試薬セット(測定回数 25回) 品番 M1145410001
14691 用試薬セット(測定回数 25回) 品番 M1146910001
14555 用試薬セット(測定回数 25回) 品番 M1145550001
反応用丸セル(25本) 品番 M1147240001

(オプション)

リアクター CR2200 型 品番 W1P21-2
リアクター CR3200 型 品番 W1P22-2
リアクター CR4200 型 品番 W1P23-2

7. 精度管理

測定結果は測定器、操作法の精度管理がなされていることを前提にして、正式に認められるものです(DWA A 704)。

この目的のために、CombiCheck シリーズがご使用になれます。この製品には光度測定系(試薬、測定器、操作法)および作業条件の確認用の標準液と、サンプル由来の影響(サンプル中のマトリックスの影響)を調べる添加溶液が含まれています。濃度既知の溶液を添加し測定を行うことにより判定出来ます(回収率による判定)。対応する CombiCheck は、下記の一覧をご参照ください。

種別	CombiCheck(品番)	標準液 mg/L COD
14541	CombiCheck20 (M1146750001)	750
14691	CombiCheck80 (M1147380001)	1500
14555	CombiCheck70 (M1146890001)	5000

データ

製品の品質管理は、ISO 8466-1 および DIN 38402 A51 に準拠して、下記のようにコントロールされています。

	14541	14691	14555
標準偏差(mg/L COD)	± 5.3	± 15.4	± 33.2
CV(変動係数)(%)	± 0.70	± 0.85	± 0.61
信頼区間(mg/L COD)	± 13	± 35	± 77
ロット数	50	27	38
感度(0.010 Aに相当する mg/L COD)	17	32	47
測定精度(mg/L COD)	最大 ± 30	最大 ± 70	最大 ± 150

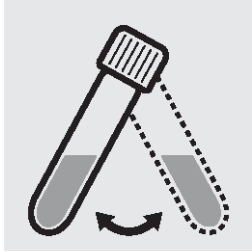
8. ご注意

- 未使用の試薬あるいは測定後の溶液の廃棄につきましては、各都道府県・地域の条例に従って行ってください。
廃水にそのまま流さないこと!!
- 幼児の手の届かないところおよび食品から離れたところに保管してください。
- 肌や目に試薬が触れた場合には、直ちに流水で試薬を良く洗い流した後、医療機関に指示を仰いでください。

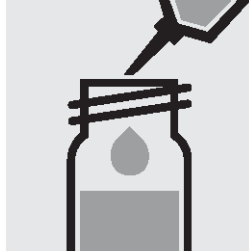
01797 ・ COD(ニクロム酸法)

化学的酸素要求量の測定

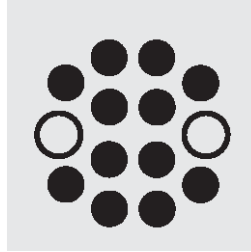
測定範囲: 5000~90000mg/l COD または O₂



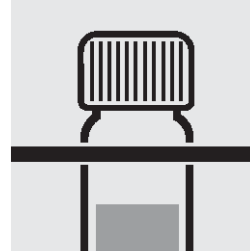
1. セルを振り混ぜて、底の沈殿物を懸濁させます。



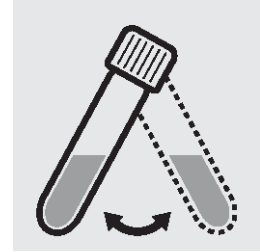
2. ピペットで0.10mlの試料を反応セルに取り、ねじぶたでしっかり閉じてよく攪拌します。
注:セルが熱くなるので注意してください。



3. 反応セルを 148°C のリアクターで 2 時間加熱します。



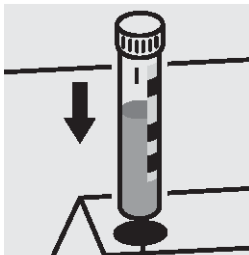
4. リアクターからセルを取り出し、試験管立てに置いて放冷します。



5. 10 分後にセルを振り混ぜます。



6. 完全に室温まで放冷するため、セルをラックに戻します。
非常に重要!

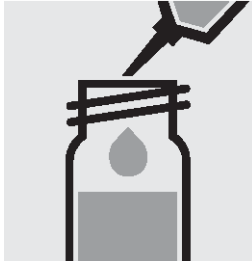


7. 各セルをセルコンパートメントにセットし、測定します。セルのマークを光度計のマークに合わせます。

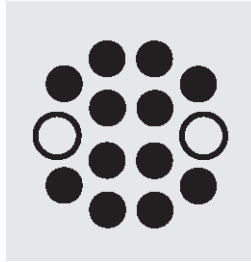
09772 ・ COD(ニクロム酸法/水銀フリー)

化学的酸素要求量の測定

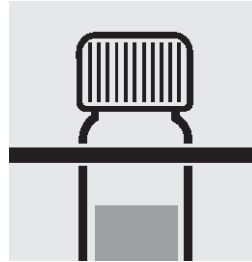
測定範囲: 10~150mg/l COD または O₂



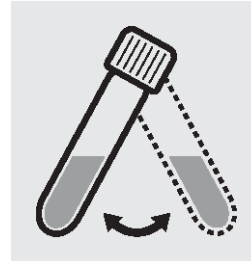
1. ピペットで 2.0ml の試料を反応セルに取り、ねじぶたでしっかり閉じてよく攪拌します。
セルが熱くなるので注意してください。



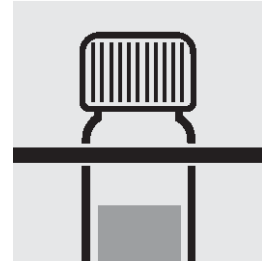
2. 反応セルを 148°C のリアクターで 2 時間加熱します。



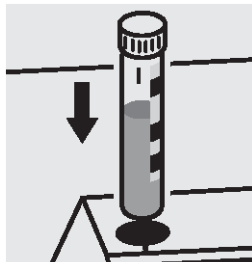
3. リアクターからセルを取り出し、試験管立てに置いて放冷します。



4. 10 分後にセルを振り混ぜます。



5. 完全に室温まで放冷するために、セルをラックに戻します。
非常に重要!



6. 各セルをセルコンパートメントにセットし、測定します。セルのマークを光度計のマークに合わせます。

品質保証:

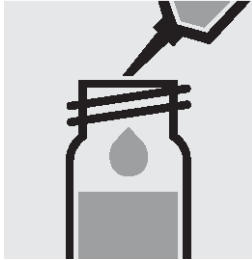
測定システム(試薬、測定装置、および取り扱い)の点検のため、CombiCheck 10(CAT 番号 250482)の使用を推奨します。

試料による影響を確認するため、添加液(例:CombiCheck 10 中)の使用を強く推奨します。

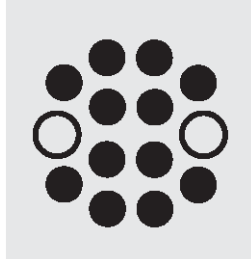
09773 ・ COD(ニクロム酸法/水銀フリー)

化学的酸素要求量の測定

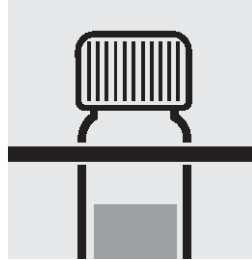
測定範囲: 100~1500mg/l COD または O₂



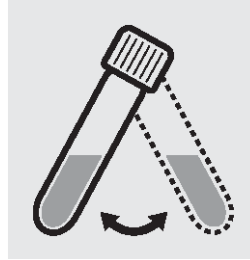
1. ピペットで 2.0ml の試料を反応セルに取り、ねじぶたでしっかり閉じてよく攪拌します。
セルが熱くなるので注意してください。



2. 反応セルを 148°C のリアクターで 2 時間加熱します。



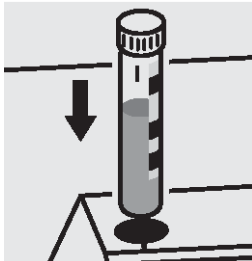
3. リアクターからセルを取り出し、試験管立てに置いて放冷します。



4. 10 分後にセルを振り混ぜます。



5. 完全に室温まで放冷するために、セルをラックに戻します。
非常に重要!



6. 各セルをセルコンパートメントにセットし、測定します。セルのマークを光度計のマークに合わせます。

品質保証:

測定システム(試薬、測定装置、および取り扱い)の点検のため、CAT 番号 250483 の CombiCheck 20 の使用を推奨します。

試料による影響を確認するため、添加液(例: CombiCheck 20 中)の使用を強く推奨します。

1. 定義

COD(化学的酸素要求量)とは、酸化剤であるニクロム酸カリウム($K_2Cr_2O_7$)からもたらされ、水 1 L に存在する、ある一定の条件下で容易に酸化される物質(酸化性物質)と反応する酸素量を表します。

1 mol のニクロム酸カリウム $K_2Cr_2O_7$ は、1.5 mol の酸素(O)に相当します。
測定結果は mg/L COD (= mg/L O) に該当します。

2. 測定原理

水中の酸化性物質は、硫酸銀を触媒として硫酸酸性下で加熱分解してニクロム酸カリウムにより酸化されます。消費されずに残った黄色の $Cr_2O_7^{2-}$ イオン(方法 09772 の場合)あるいは緑色の Cr^{3+} イオン(方法 09773 の場合)を光学的に測定します。

3. アプリケーション

本法は、ニクロム酸カリウムにより酸化される有機および無機化合物を測定します。適用外の化合物: ある種の複素環式化合物(例 ピリジン)および第四級窒素化合物、高揮発性炭化水素

サンプル:

地下水、地表水(方法 09772 のみ対応可)、工程管理、排水

4. 妨害物質の影響

妨害物質が表中の濃度以下であれば、測定に影響はしません。

妨害物質濃度(mg/L または %)

	Cl ⁻	Cr ³⁺	CrO ₄ ²⁻	NO ₂ ⁻	SO ₃ ²⁻	H ₂ O ₂	NaNO ₃ Na ₂ SO ₄ Na ₃ PO ₄
09772	同時に測定 ¹⁾	75	5	10	25	10	10%
09773		25	50	50	25	50	10%

¹⁾ 50 mg/L Cl⁻ ≒ 約 10 mg/L COD (方法 09772)

≒ 約 30 mg/L COD (方法 09773)



塩化物イオン濃度が 250 mg/L (方法 09772) あるいは 400 mg/L (方法 09773) を超える場合、セル内に沈殿物が生成されますのでご注意ください。

5. 試薬の保存条件

キットの内容物は、必ず遮光して保存してください。

キットに含まれる試薬類は密閉状態で、以下の条件で保存された場合、容器に記載された有効期限まで安定してご使用頂けます。

保管温度: +15~+25 °C

6. 使用する試薬・器具

09772 用試薬セット(測定回数 25 回) 品番 M1097720001

09773 用試薬セット(測定回数 25 回) 品番 M1097730001

反応丸セル(25 本) 品番 M1147240001

(オプション)

リアクター CR2200 型 品番 W1P21-2

リアクター CR3200 型 品番 W1P22-2

リアクター CR4200 型 品番 W1P23-2

7. 精度管理

測定結果は測定器、操作法の精度管理がなされていることを前提にして、正式に認められるものです(DWA A 704)。

この目的のために、CombiCheck がご使用になれます。この製品には光度測定系(測定器、試薬、操作法)および作業条件の確認用の標準液と、サンプル由来の影響(サンプル中のマトリックスの影響)を調べる添加溶液が含まれています。濃度既知の添加溶液を添加して測定を行うことによって確認出来ます(回収率による判定)。

対応する CombiCheck は、下記の一覧をご参照ください。

種別	CombiCheck(品番)	標準液 mg/L COD
09772	CombiCheck 10 (M1146760001)	80
09773	CombiCheck 20 (M1146750001)	750

データ

製品の品質管理は、ISO 8466-1 および DIN 38402 A51 に準拠して、下記のようにコントロールされています。

種別	109772	109773
標準偏差 (mg/L COD)	± 1.0	± 5.1
CV (変動係数) (%)	± 1.3	± 0.63
信頼区間 (mg/L COD)	± 2	± 12
ロット数	6	8
感度(0.010 A に相当する mg/L COD)	2	19
測定精度 (mg/L COD)	最大± 6	最大± 30

8. ご注意

- 幼児の手の届かないところおよび食品から離れたところに保管してください。
- 肌や目に試薬が触れた場合には、直ちに流水で試薬を良く洗い流した後、医療機関に指示を仰いでください。
- 未使用の試薬あるいは測定後の溶液の廃棄につきましては、各都道府県・地域の条例に従って行ってください。